

病棟への伝達方法改善の試み

—POS式記録を取り入れて—

人工腎臓部 横前多恵子

はじめに

機械操作の多い透析室看護は特殊看護と認識されやすく、そのことが病棟・透析室間を疎遠にする原因になるものと思われる。更に透析室看護婦においては、患者との接触が透析中に限定されることもあり、看護の孤立分断化が進みやすい。そこで今回、伝達方法を検討し、病棟との関わりについて考察したのでここに報告する。

I 方法

- 1) アンケートによる病棟看護婦の意識調査
- 2) 1) を元に病棟への伝達方法を検討する。
- 3) 透析治療中の1症例を通し、病棟とのコンタクトを試みる。

II 結果

1) アンケート集計の結果 (回収率67%)

内科系、及び4月現在透析患者の居た病棟看護婦計75名にアンケート(表1)を依頼した。1)の透析室のイメージでは、全体的に静かでかつ暗く、特殊な場所というものが多く、イメージとして特になく、情報が少なくよくわからない、という回答も考え合わせると透析室の孤立化傾向がうかがえる(表2)。2)の治療のとらえ方では、透析は危険を伴う治療という回答が56%と半数以上を占めているが、30%は純粹に安定した治療ととらえている事、又、6%は何も想像がつかないという回答をしていることなど、透析治療の理解にかなりの個人差があることがわかる。(図1)。

次に3)の得たい情報項目を多い順に集計した(図2)。患者の透析中の言動、精神面を知りたいとしているスタッフが多かった。尚、他の項目に関しては今現在の経過表に網羅されている内容であった。4)の導入期の指導に関する結果では、透析室が中心になって行なうという回答が多かった。(図3)。5)最終目標については、自己管理、生活安定等外来透析につなげられるような目標をおいて看護にとりくんでいるスタッフが居ることがわかった(表3)。以上のアンケート結果により、今まで以上に病棟との連絡を密にし、透析治療中の患者の状態を伝達してゆく必要性を認識した。

2) 伝達方法の検討

伝達の1方法として、透析室の記録を経過表と共に病棟へ渡す試みを検討した。その1例を表4、表5に示す。サマリー式記録を変更し、断続的な接触でも経過が追えるPOS式記録をとり入れた。表4のようなProblem Listを1ページ目に挿入し、項目にそって記録を追加していく方式である。

3) 病棟とのコンタクトの試み

2] の記録方式で、内科病棟に入院中で透析治療を受けていた症例を通し病棟とのコンタクトを試みた。

〈症例〉

65才の女性で原疾患は Myeloma, 透析に導入して半月経過していた。化学療法による副作用と精神障害をきたしてきていた。3ヶ月間程の経過のうちに急性から慢性腎不全に移行したため、他施設へ転院という経過をとった(表6)。この症例を通し、先の方式による透析記録を病棟へ渡し、病棟とのコンタクトを試みた。がその施行期間は症例が入院中の約1ヶ月半で終了してしまった事、又その評価においてもその病棟看護婦に限定されるものであるため、この伝達方法、内容の成否に関してはまだ判断しかねる点が多い。がしかし、病棟看護婦への評価アンケートをとった結果では、約8割の看護婦から、透析室からの記録はわかりやすかった、状況が把握できた、何らかの形で利用できたとの返答を得た。

III 考 察

今回の試みから、POS式記録は問題点が明確化でき、伝達しやすい利点をもつものであることが再認識できた。このことより、POS式記録は病棟への伝達手段として有効となりうるものと評価する。この伝達方法が病棟、透析室間で、スムーズに施行されるに至れば、透析室看護の孤立分断化は縮小してゆくものと考えられる。

おわりに

発表者が当部所属外となった今現在もPOS式記録、病棟への伝達は継続していただいております。今後多方面の評価が得られてゆくものと期待する。又この先透析室及び病棟のスタッフによる合同カンファレンス等が導入されてゆけば、更に看護プロセスの拡大が望めるのではないだろうか。

尚今回のアンケート等に協力して下さった方々に深甚の謝意を表します。

参考文献

- 1) 重村 淳子：患者ケアに役立つ申し送りの工夫，看護実践の科学，14(10):27～34,1989
- 2) F・ロス・ウリイ等他3名著，日野原重明等他3名訳：看護のためのPOS，第1版，医学書院,1978，P11～50，P144～151.
- 3) 桑野タイ子編著：看護記録パートII，第1版，看護の科学社,1989，P7～18，P91～100.
- 4) 宇田 有希：透析看護の専門性の追求，看護実践の科学，14(4)：34～37,1989.
- 5) 東京看護学セミナー事例検討グループ：新人ナースの申し送り，看護実践の科学,14(4)：56～58，1989.
- 6) 田中 尚子：透析看護のための記録，臨床透析，4(4)：81～87，1988.

表2 アンケート結果 回収率67%

表2 アンケート結果

1) 透析室のイメージに関して

a 静かな所, 大変というイメージ, 数人のスタッフで頑張っているところ	・・・12%
b 特殊な所, 手術室に近いイメージ	・・・10%
c 暗い, よくわからない	・・・8%
d 命綱, 機械が多い所	・・・6%

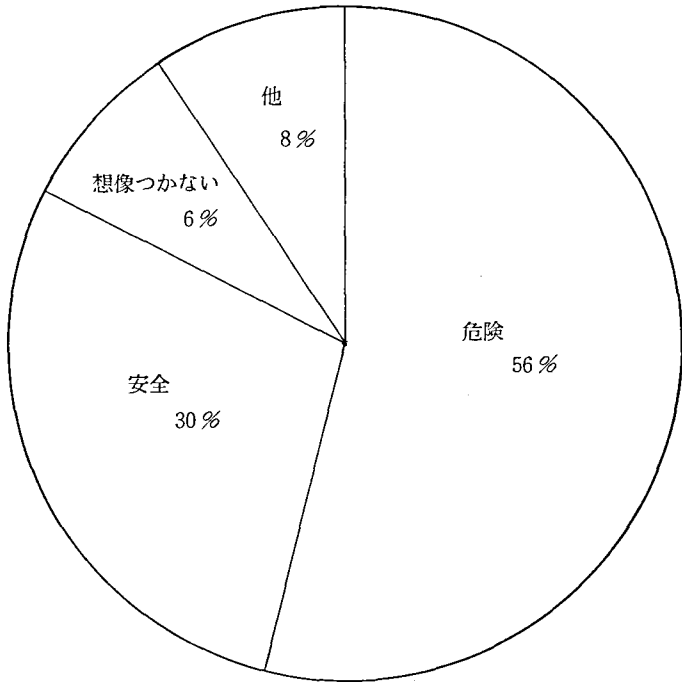


図1 アンケート結果 2) 治療のとらえ方

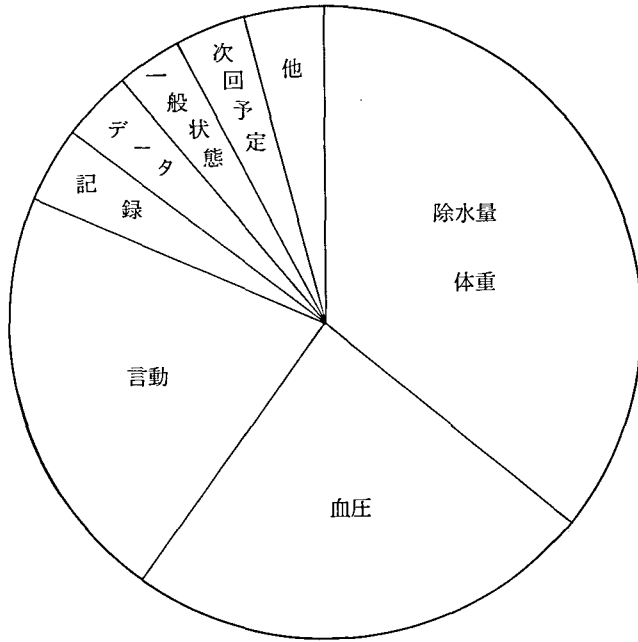


図2 アンケート結果
3) 得たい情報項目

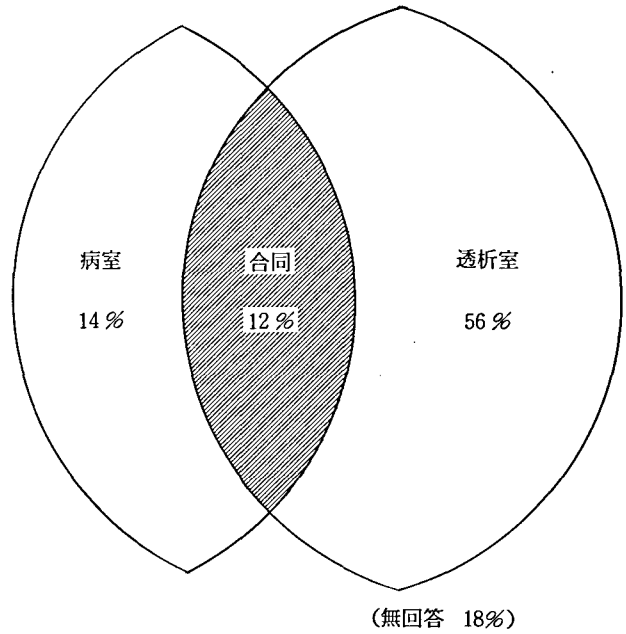


図3 アンケート結果 4) 導入期の指導

表3 アンケート結果

5) 最終目標

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> a 自己管理できる b 生活安定 c その人らしい生活ができる d 透析の受入れができる e 他 |
|--|

表4 Problem List

日付	No.	Problem List	備考
90' 5. 16	# 1.	溢水状態	
	# 2.	貧血	
	# 3.	chemotherapy	5/11~5/14 1クール
5. 17	# 4.	情動不安定	
5. 18	# 5.	眼脂	
5. 21	# 6.	出血傾向増強	
	# 7.	言動変化	
5. 30	# 8.	意味不明な言動	6/4精神科受診 →コルサコフ症候群 susp
	# 9.	ダイアライザーの残血	
6. 15	#10.	穿刺困難	
	#11.	熱発	
6. 29	#12.	サマリー	6/30相沢 Hp へ転院

表5 透析室の看護記録

<p>5. 21</p>	<p># 7</p>	<p>言動の変化</p> <p>前回のHD終了後、車イスのポケットにリップクリーム、ニトロールスプレーを入れたまま忘れてしまったことを気にしている。</p> <p>S： 突然に</p> <p>「昨日自分で赤茶色の車イスのポケットを捜してみたけどなくてね」</p> <p>又、右膝関節部の疼痛出現時</p> <p>「三才山（みさやま）ミサヤマというのが頭にうかぶんです」と言う。何ら関連性がない。</p> <p>O： 1人で話しはじめることはないがスタッフが近くに行くと上記のような言葉が聞かれる。問い返すとその意味を話してくれる。</p> <p>意味不明瞭な言動ではない。</p> <p>痴呆的要素もない</p> <p>A： 身体症状が思わしくなく 次から次へと何らかの症状が出現してきているのが精神的ストレスになっているように思われる</p> <p>その重なってきているストレスが精神構造or表現力に影響を及ぼしつつあるのか？ あるものへのこだわり</p> <p>執着心が強く表れてきているように思われる</p> <p>P： 今後も言動に注意してゆく</p> <p>本人のもつ性格と病的なものとの区別がつくよう注意して接する。</p>
<p>5. 23</p>		<p>〈病棟からの情報〉</p> <p>昨日38°台の熱発あり ケーリングのみで解熱</p> <p>右膝周囲疼痛持続・・・X—P 結果異常認められない</p> <p>CTR 60.5% (wt53.7kg 前回HD後)</p> <p style="text-align: right;">— サイン —</p>

表6 症 例

<p>A. S. 65才, 女性, Myeloma, CRF</p> <p>〈経過〉</p> <p>H 2. 3月中旬より歩行困難</p> <p>3月下旬 紹介にて当院内科入院。</p> <p>精査にて Myeloma 確定。化療2クール施行。</p> <p>入院時より腎不全進行。3月下旬よりHD導入。</p> <p>4月中旬 内シャント造設。CRFに移行。</p> <p>6月下旬 転院。</p>
<p>〈Problem〉</p> <ol style="list-style-type: none">1 化療2 身体症状・・・食欲不振, 熱発, 出血傾向, 高血圧, 疼痛, etc3 慢性透析移行4 精神症状・・・神経質, コルサコフ様症状

表1 アンケート

病棟との連絡体系の参考にしたいと思います。お忙しい中、申しわけありませんが、5月12日(土)までにお願ひ致します。透析室 横前多恵子

- 1) 今現在持っている透析室のイメージはどのようなものでしょうか？

- 2) 透析治療をどのようにとらえていますか？ ○印を付けて下さい。
 - a. 急変するかもしれない危険な治療
 - b. 3～4 hの安定した治療
 - c. 検査程度の簡単な治療
 - d. 何も想像つかない
 - e. その他 (具体的に)
- 3) 透析中の患者の経過で必ず知りたい事項、あるいは今現在、経過表より必ず確認する項目がありましたら書いて下さい。(血圧, 血流量, 除水量, etc)

- 4) 透析導入期 (慢性, 急性含めて) の看護サイドでの指導はどのようにしたらよいと考えますか？ ○印を付けて下さい。
 - a. 病棟スタッフが主体的に行う。
 - b. 透析室スタッフが主体的に行う。
 - c. 通院透析に移行する者はその施設に委ねる (急性期は a. b 選択性とする)
 - d. その他 (具体的に)
- 5) 入院透析患者の最終目標について、考えていることがありましたら書いて下さい。

・御協力ありがとうございました。・